

2017年度（平成29年度）

研究部門名 生物学研究部門

講座名 分子細胞生物学講座

教員名 高野 和儀

電子メール ktakano 理 faculty.chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・ 会合等	巻・号	頁	発行・発表年 等	掲載論文の DOI (付与されている場合)
(1)	<u>Kanno, E.</u> , <u>Kawasaki, O.</u> , <u>Takahashi, K.</u> , <u>Takano, K.</u> and <u>Endo, T.</u>	DA-Raf, a dominant-negative antagonist of the Ras-ERK pathway, is a putative tumor suppressor.	Exp. Cell Res.	362・1	111-120.	2018 (Jan. 1)	doi: 10.1016/j.yexcr.2017.11. 008.
(2)	○高野和儀, 辻 田和也, 菅野英 美里, 菅波晃 子, 遠藤剛	DA-Raf はリン脂質 と Ras の両方に結 合することで Ras-ERK カスケー ドを抑制する	第 69 回日本 細胞生物学 会大会			2017 年 6 月 14-15 日	P2-122
(3)	○高野和儀, 栗 原優介, 辻田和 也, 遠藤剛	横紋筋肥大・再生 時の筋原繊維形 成および核配置に おける N-WASP の 役割	2017 年度 生命科学系 学会合同年 次大会			2017 年 12 月 7 日	2P-0343

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 1 名
- ・大学院修士 2 名（遠藤教授と共同）
- ・大学院博士 0 名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

平成 29 年度より大学院集中講義『分子細胞生物学特講 4』を担当（日本医科大 福原茂朋 教授）

(4) 国際会議出席と招待リスト

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など  
文部科学省 科学技術・学術政策研究所『科学技術の状況に係る総合的意識調査』調査協力

(9) 特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）